

九大学研都市メールマガジンvol.155 (令和6年1月号)

opack_mailmagazine

九大学研都市メールマガジンvol.155 (令和6年1月号)

opack_mailmagazine

本メルマガ配信を行っております< emagazine@opack.jp >は、配信専用アドレスです。

付きのイベントは、OPACKホームページ< <https://www.opack.jp/> >内の「九大学研都市トピックス」に各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、そちらからもご覧いただけます。

○**INDEX**○

- 九大学研都市に関する団体・機関からお知らせ -

【1】1月6日(土)開催
国際シンポジウム「気候変動とZ世代へつなく人類の未来」

【2】1月10日・17日・24日・31日開催
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)
「Brown Bag Seminar Series ~ 第126回・第127回・第128回・第129回 ~ 」

【3】1月17日・26日・31日 / 2月16日・22日開催
【福岡半導体リスクセンター】1,2月開催 公開講座のご案内

【4】1月22日(月)開催
福岡 空のモビリティ講演会 第2回のお知らせ
~空のモビリティの最新情報~

【5】1月26日(金)開催
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 有機光エレクトロニクス産業化研究会
第19回有機光エレクトロニクス産業化研究会 開催のお知らせ

【6】1月27日(土)開催
未来共創リーダー育成プログラム令和5年度シンポジウム
未来社会を共創するために必要な教育とは? ~分野横断型副専攻プログラムの挑戦~

【7】1月29日(月)~2月2日(金)
九州大学エネルギーウィーク2024の開催について

【8】1月31日(水)開催
九州大学-九州先端科学技術研究所(ISIT)-福岡市連携
グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム
~脱炭素ビジネスと水素エネルギーの最前線~

1 国際シンポジウム「気候変動とZ世代へつなく人類の未来」

概要

気候変動が人類にとって大きなリスクとなってきました。このシンポジウムでは、現在の気候変動は過去の地球でおこった変動と比べてどう違うのか、気候変動は各地でどのように現れるのか、気候変動に対してどのような活動が行われているかをご紹介します。Z世代が社会の中核を担う2050年へ向けて、今どのような活動を始めるべきか、世代を超えて一緒に考えましょう。（使用言語：英語、日本語）

日時 2024年1月6日（土）13:00～17:00 参加費無料

場所 JR博多シティ会議室 10階

<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/meetingroom/access.html>

内容

第1部：地球の気候変動と地域の課題

1. 地球の気候変動と人間活動が関わる新時代「人新世」

横山 祐典（東京大学 大気海洋研究所・教授）

2. 気候変動と地域：危機にさらされる太平洋・インド洋の環礁国や日本周辺の海

菅 浩伸（九州大学 浅海底フロンティア研究センター・センター長）

第2部：気候変動に適応するための取り組み

1. 国連気候変動枠組条約を基にした「緑の気候基金」の活動

Mbarack DIOP（Senior Sector Specialist, Green Climate Fund）

2. 国内外における再生可能エネルギーの現状と課題

石田 恵介（Vena Energy Japan・洋上風力事業開発ゼネラルマネージャー）

第3部：Z世代へつなく人類の未来

1. 脱炭素を進める北欧の生活から見えてきたこと

レイク 沙羅（九州大学共創学部・学生）

2. Z世代を交えた討論

対象者 どなたでもご参加いただけます。

参加費 無料

定員 100名程度 事前申込不要

〔主催〕九州大学大学院 比較社会文化研究院附属 浅海底フロンティア研究センター

〔共催〕Vena Energy Japan

問い合わせ

九州大学大学院 比較社会文化研究院附属 浅海底フロンティア研究センター

Email : seafloor@scs.kyushu-u.ac.jp

・「気候変動とZ世代へつなく人類の未来」チラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32103_file.pdf

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)

～ Brown Bag Seminar Series ～

2 第126回 『21世紀の北極圏：気候変動、大規模資源開発、先住民族文化の狭間で』

第127回 『光化学 ～光エネルギーを手にした分子の力で革新的な技術を切り拓く～』

第128回 『資源国（オーストラリア、チリ）における鉱物資源開発の現状とその戦略』

第129回 『ロボット群の「スケーラブル」な制御』

～ Brown Bag Seminar Series（1月分）の御案内～

概要

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）では「Brown Bag Seminar Series」

を2021年4月から毎週水曜日のランチタイムに開催しております。本学のアジア・オセアニア

ア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を多くの方に知っていただき、異分野研究ネットワークや交流やきっかけの場を提供できればと思います。どなたでも気軽に御参加いただける内容となっております。途中参加、途中退室もOKです。皆さまのご参加をお待ちしております。

< 各回共通 >

形式 オンライン (Zoom Webinar)
言語 日本語・英語 (同時通訳あり。スライドやポスターも日英2言語対応)
定員 500名
対象者 どなたでも参加可能
参加費 無料
詳細 下記URLをご覧ください

<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ 九州大学IQ支援室

TEL : 092-802-2604 / E-mail : iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp

・ ・ ・ ・ ・
【第126回】

タイトル 『21世紀の北極圏：気候変動、大規模資源開発、先住民族文化の狭間で』

(キーワード/アラスカ先住民族、生存狩猟・漁労、野生動物管理、持続可能な開発、環境人類学)

日時 1月10日(水) 12時10分～12時50分

登壇者 生田 博子 准教授 (留学生センター)

参加申込 下記URLより、お申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_ibyPEb59RkO-BGcGFD19bQ

・ ・ ・ ・ ・
【第127回】

タイトル 『光化学～光エネルギーを手にした分子の力で革新的な技術を切り拓く～』

(キーワード/光化学、エネルギー化学)

日時 1月17日(水) 12時10分～12時50分

登壇者 宮田 潔志 准教授 (理学研究院 化学部門)

参加申込 下記URLより、お申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_628Wnc3US7igmuL_PDgG7g

・ ・ ・ ・ ・
【第128回】

タイトル 『資源国(オーストラリア、チリ)における鉱物資源開発の現状とその戦略』

(キーワード/鉱物資源開発、オーストラリア、チリ、銅の鉱物処理)

日時 1月24日(水) 12時10分～12時50分

登壇者 三木 一 准教授 (工学研究院 地球資源システム工学部門)

参加申込 下記URLより、お申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_qrwSN7rNST2-yseRhgvdbg

・ ・ ・ ・ ・
【第129回】

タイトル 『ロボット群の「スケーラブル」な制御』

(キーワード/移動ロボット群の制御, スケーラブルな制御, 自然界の群れ行動, ナノロボット)

日時 1月31日(水) 12時10分～12時50分

登壇者 山本 薫 准教授 (システム情報科学研究院 電気システム工学部門)

参加申込 下記URLより、お申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_-KT0DhooR_S4_w9y4HxfCQ

・ ・ ・ ・ ・
・ セミナーチラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32104_file.pdf

3 【福岡半導体リスクリングセンター】1,2月開催 公開講座のご案内

概要

(公財)福岡県産業・科学技術振興財団「福岡半導体リスクリングセンター」から1,2月開催 公開講座を5つご案内します。

半導体と自動車の基礎講座で、1日で各専門分野の基本的な内容が学べる座学となっています！！

2024年1月17日（水）「半導体実装概論」 税込2,200円
ムーアの法則の限界を打破する半導体実装技術について技術や動向を1日で解説します。
半導体パッケージの進化 / 微細接合技術 / サブストレート / 樹脂封止・絶縁技術 /
パッケージ信頼性 / まとめ

2024年1月26日（金） 税込33,000円
「1日で学ぶ自動車工学の基礎知識」
自動車の基礎を1日で学びます。
自動車の歴史と動向 / 自動車の基本 / 環境 / 安全 / 利便・快適 / 自動車の将来

2024年1月31日（水） 税込2,200円
「電動化自動車パワートレインのモデリングと制御基礎」
EV駆動系について仮想モデル設計（MBD）を用いた最適設計手法を基礎から学びます。
自動車パワートレイン電動化の背景 / 電動化パワートレインと車両運動のモデリング
HEVエネルギーマネジメント策設計基礎 / EV制御の基礎問題
コネクティド環境における電動化車両の制御技術展望 / まとめ

2024年2月16日（金） 税込2,200円
「半導体製造装置（基礎）」
日本を代表する半導体製造装置5社のコラボレーション講座！
半導体産業・技術とエッチング装置概論（講師：SEAJ/東京エレクトロン）
露光装置概論（講師：キヤノン） / 成膜装置概論（講師：日本エー・エス・エム）
洗浄装置概論（講師：SCREEN） / 電子ビーム応用計測技術概論（講師：日立ハイテク）

2024年2月22日（木） 税込4,400円
「よくわかる半導体超入門」・・・ご好評につき2回目開催！
半導体初心者や文系の方にもわかるように半導体のはじめの一步を教えます。
よくわかる半導体超入門 ～半導体ってどんなもの～
よくわかる半導体超入門 ～半導体のしくみ～
よくわかる半導体超入門 ～半導体の作り方～
3つの講座をまとめて開催！

講座詳細・申込方法 下記URLよりお申し込みください。
<https://reskilling.ist.or.jp/seminarall/>

福岡県内中小企業の方には、受講料に対する補助制度がありますので是非ご活用ください
<https://reskilling.ist.or.jp/support/detail.html>

問い合わせ先 公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団内
福岡半導体リスキリングセンター(担当：高倉)
TEL：092-822-1550 / E-mail：reskilling_contact@ist.or.jp

・「福岡半導体リスキリングセンター1・2月公開講座」チラシ：
https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32105_file.pdf

4 福岡 空のモビリティ講演会 第2回のお知らせ

概要

2025年に開催される大阪・関西EXPOでは、空飛ぶクルマ（空クル）で大阪や神戸などとの近郊を結ぶ計画が発表され大きな注目を集めています。近未来に実現が期待されている空飛ぶクルマ（空クル）による物流・人流について、私たちが何を考え、どのようなビジョンを持ち、何に備えるべきかを産学官で検討する必要があります。

九州の交通・経済の要である福岡市が九州圏の発展の源となるために、機体開発の専門家の方々にその最前線についてお話いただく第2回講演会「空のモビリティの最新情報」を1/22(月)にアクロス円形ホールで開催いたします。企業や県・自治体の方々のご参加をお待ちしております。

日時 2024年1月22日(月) 15:00~17:30

場所 アクロス円形ホール

内容 空飛ぶクルマ・ドローン開発の背景、課題、今後の研究開発の方向性などについて業界の専門家からお話いただき、それらの社会受容に必要な要素を検討します。

対象者 企業や県・自治体の方々

参加費 無料

定員 80名

申込期限 無し

申込方法 下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.gle/TCjjqdbVohGGohoY8>

問い合わせ 福岡空のモビリティシンポジウム事務局

E-mail : sorakuruelsi@gmail.com

・「空モビ講演会第2・3・4回」チラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32106_file.pdf

5 (公財)福岡県産業・科学技術振興財団 有機光エレクトロニクス産業化研究会
第19回有機光エレクトロニクス産業化研究会 開催のお知らせ

概要

令和6年1月26日(金)に当研究会が開催するi3-opera見学会及び講演会についてご案内いたします。

詳細は以下のメール本文と添付の案内をご覧ください。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

【第19回有機光エレクトロニクス産業化研究会】

有機光エレクトロニクス産業化研究会では、有機光エレクトロニクス関連の研究開発や市場動向について、最新情報を発信します。

今回は、i3-opera見学会及び「半導体と有機エレクトロニクスで盛り上がる九州」をテーマとする講演会を開催します。

日時 2024年1月26日(金)

11:00~12:00(i3-opera見学会)

13:30~17:15(講演会)

17:30~19:00(交流会)

場所 有機光エレクトロニクス実用化開発センター(i3-opera見学会)

九州大学共進化社会システムイノベーション施設2階ホール(講演会)

九州大学椎木講堂2階「ITRI ITO」(交流会)

プログラム

講演 「i3-operaの10年の歩みと今後の展望」

有機光エレクトロニクス実用化開発センター センター長 藤本 弘

講演 「2023年ノーベル化学賞「量子ドット(半導体ナノ粒子)」及び

世界最大量子ドット新工場(糸島事業所)のご紹介」

昭栄化学工業株式会社 QD事業部長 佐々木 洋和 氏
講演 「量子ドット材料を活用した次世代自発光ディスプレイ技術の開発」
シャープディスプレイテクノロジー株式会社
開発本部 次世代技術開発統轄部 第三開発部長 石田 壮史 氏
講演 「ソニーのOLEDマイクロディスプレイ技術」
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 技監 中粉 晃弘 氏
講演 「産業ライフサイクルにおける大学発ベンチャーの役割」
大阪公立大学大学院 准教授
株式会社ジャパンディスプレイ 社外取締役
株式会社脱炭素化支援機構 社外取締役 小関 珠音 氏
講演 「有機エレクトロニクスのこれからの10年」
有機光エレクトロニクス実用化開発センター センター長 安達 千波矢

参加費 i³-opera見学会：無料
講演会：無料
交流会：3,000円

問い合わせ
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団内 有機光エレクトロニクス産業化研究会 事務局
担当：山崎・松元
TEL：092-805-1850 / FAX：092-805-1851 / E-mail：i3-opera@ist.or.jp

・第19回案内チラシ：https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32107_file.pdf

6 未来共創リーダー育成プログラム令和5年度シンポジウム 未来社会を共創するために必要な教育とは？～分野横断型副専攻プログラムの挑戦～

概要

九州大学大学院未来共創リーダー育成プログラムは、複合的な現実課題に取り組むために必要な幅広い視野からの知識や技能を習得と実践的な現場での課題解決力を磨くことで、未来社会を共創できるリーダーの育成を目指してきました。
今回のシンポジウムでは未来社会の共創のために大学や企業が実施している先駆的な取り組みをご紹介いただき、未来社会の共創に真価を発揮する人材を育成するための教育の在り方やその振興のために本プログラムをはじめとする分野横断型の副専攻プログラムが挑戦すべき具体的方策について議論いたします。

日時 2024年1月27日(土) 13:30～17:30

場所 九州大学伊都キャンパス 日本ジョナサン・KS・チョイ文化館

内容

【開会挨拶】
園田 佳巨 九州大学教育担当理事 プログラム担当理事
【来賓挨拶】
庄司 祐介 文部科学省高等教育局私学部学校法人調査官
【趣旨説明】
荒谷 邦雄 九州大学大学院地球社会統合科学府教授 未来共創リーダー育成プログラムリーダー
【基調講演1】
「愛媛大学における地域連携/社会人リカレント教育の展開」
治多 伸介 愛媛大学大学院農学研究科長 地域専門人材育成・リカレント教育支援センター長
【基調講演2】
「大阪大学における『総合知』人材育成の仕組みづくり～学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システムのご紹介～」
池 道彦 大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構学位プログラム企画室長
【事例報告】
「未来社会の展望と企業との共創」

武藤 和博 日本オラクル株式会社クラウド・アプリケーション統括Vice President

「18歳からのアントレプレナーシップ教育をデザインする～九州大学QRECの教育的・カリキュラムデザイン・教授法」

五十嵐 伸吾

九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センタ (QREC)副センター長

「福岡大学の取り組みについて 課題と展望」

木下 敏之 福岡大学経済学部教授

「九州大学大学院人間環境学府がめざすリカレント教育」

堀 賀貴 九州大学大学院人間環境学府長

【パネルディスカッション】

コーディネーター：橋 彌 和秀 九州大学大学院人間環境学府教授

未来共創リーダー育成プログラムサブリーダー

パネラー：治多 伸介 / 池 道彦 / 武藤 和博 / 五十嵐 伸吾 / 木下 敏之 / 堀 賀貴

オブザーバ：園田 佳巨、庄司 祐介

【閉会挨拶】

大野 正夫 九州大学大学院地球社会統合科学府長 未来共創リーダー育成プログラム責任者

対象者 教育関係者、学生、一般の方

定員 100名（対面開催のみ）

参加費 無料

申込期限 2024年1月23日18時（定員になり次第締め切らせていただきます）

申込方法 下記フォームよりお申込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/1ODpxrbpCqkQxFfIrDgJLcmRaHXhoymFDvOl45cwbH3c/edit>（Google フォーム）

問い合わせ 未来共創リーダー育成プログラム推進室

E-mail：suishinshitsu@scs.kyushu-u.ac.jp

HP：https://gipad.kyushu-u.ac.jp/

・「未来共創リーダー育成プログラム令和5年度シンポジウム」チラシ：

https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32108_file.pdf

7 九州大学エネルギーウィーク2024の開催について（2024/1/29-2/2）

概要

九州大学では2024年1月29日から2月2日に、「エネルギー分野の英知が垣根を越えて 結集：GXに向けた未来エネルギー技術予測とAI活用」をテーマとして、「九州大学エネルギーウィーク2024」を開催します。

今回は、AI、メタバース及び未来エネルギー技術予測等を活用したグリーントランスフォーメーション（GX）に関する動向に焦点を当て、国内外の著名な演者による講演のほか、本学のカーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)、水素材料先端科学研究センター（HYDROGENIUS）や、九州地区再生可能エネルギー連携委員会、九州先端科学技術研究所（ISIT）などによるシンポジウム・ワークショップと、若手研究者・博士課程学生による研究発表を実施します。

『九州大学エネルギーウィークについて』

毎年1回、1月最後の週を起点に開催されるエネルギーに関するイベントです。学内外のエネルギー関連部局が連携して、「未来エネルギー」を中心テーマとするシンポジウムやワークショップを開催し、エネルギー研究者の国際的なハブ機能を担う交流の場としての役割を果たしています。国内外の大学、研究機関をはじめとして、産業界や行政の関係者など、毎年延べ約2,000名の方々にご参加いただいています。

日時 2024年1月29日（月）～ 2月2日（金）

場所 （対面）九州大学伊都キャンパス、アクロス福岡など
（オンライン）Zoom、YouTube等による配信
詳細は公式ホームページをご覧ください。

内容

1月29日（月）

- 【エネルギー研究教育機構（Q-PIT）】
- ・プレナリーセッション [日]
- （プレナリーセッション後、九州脱炭素化研究会（Q-DeCS）による授賞式を開催）
- ・フォーカストセッションA [日]

1月30日（火）

- 【エネルギー研究教育機構（Q-PIT）】
- ・フォーカストセッションB [日]
- ・フォーカストセッションC [日・英]

1月31日（水）

- 【カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I2CNER）】
- ・I2CNER Annual Symposium [英]
- 【九州先端科学技術研究所（ISIT）、福岡市、九州大学】
- ・九州大学-ISIT-福岡市連携 グリーントランスフォーメーション（GX）シンポジウム [日]

2月1日（木）

- 【カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I2CNER）】
- ・I2CNER Thrust Workshop（エネルギー変換科学ユニット） [英]
- ・I2CNER Thrust Workshop（物質変換科学ユニット、マルチスケール構造科学ユニット） [英]
- 【水素材料先端科学研究センター（HYDROGENIUS）、九州経済産業局】
- ・九州水素・燃料電池フォーラム&水素先端世界フォーラム2024 [日]

2月2日（金）

- 【九州地区再生可能エネルギー連携委員会】
- ・再生可能エネルギー連携フォーラム [日]
- 【カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I2CNER）】
- ・I2CNER - IMI International Joint Workshop [英]
- ・I2CNER CESD Workshop [英]
- 【持続的共進化地域創成拠点（COI）】
- ・持続的共進化社会シンポジウム [日]

対象者 どなたでもご参加頂けます。

定員 プログラムによって異なりますので、エネルギーウィーク公式HP
< <https://q-pit-ew.kyushu-u.ac.jp/ja> > よりご確認ください。

参加費 無料

申込方法 エネルギーウィーク公式HPの参加登録ページからご登録ください。
<https://q-pit-ew.kyushu-u.ac.jp/ja/program>

問い合わせ 九州大学I2CNER・Q-PIT共通事務支援室学術支援渉外グループ
TEL：092-802-6934 FAX：092-802-6939
E-mail：enewweek@jimu.kyushu-u.ac.jp

・「九大エネルギーウィーク2024」ポスター：https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32109_file.pdf

8 九州大学-九州先端科学技術研究所(ISIT)-福岡市連携
グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム
～脱炭素ビジネスと水素エネルギーの最前線～

概要

九州大学エネルギーウィークに合わせ、水素エネルギーの最新事情に関して、九州大学とENEOS株式会社の講演を行います。また、福岡市内企業の脱炭素ビジネス事例も紹介します。

日時 2024年1月31日(水) 13:00～15:00 (12:30受付開始)

場所 アクロス福岡7F大会議室 現地開催のみでオンラインでの実施はありません

内容

プログラム

基調講演 「九州大学における再エネ・水素エネルギー研究教育」

九州大学 エネルギー研究教育機構 教授 林 灯(はやしあかり)氏

基調講演 「ENEOSの水素サプライチェーン構築に向けた取り組み」

ENEOS株式会社 水素事業推進部 主幹 前田 征児(まえだせいじ)氏

事業紹介 「福岡市・九州先端科学技術研究所(ISIT)による市内企業の脱炭素ビジネスへの取り組み支援」

福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業採択企業の脱炭素ビジネス事例報告

(登壇予定企業) 株式会社エース・ウォーター、

オングリットホールディングス株式会社、日本乾溜工業株式会社

定員 先着100名

参加費 無料

申込方法 「九州大学エネルギーウィーク2024」からの申し込み

<https://q-pit-ew.kyushu-u.ac.jp/ja/program>

問い合わせ 公益財団法人九州先端科学技術研究所GXシンポジウム担当

TEL: 092-852-3460 / FAX: 092-852-3455 / Email: green@isit.or.jp

・「九大EW2024シンポジウム」チラシ: https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32110_file.pdf

-----事務局からのお願い & お知らせ-----

九大学研都市メールマガジン会員募集中

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)では、メールマガジン会員を随時募集しております。ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。

産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に関心のある方には是非お知らせください。

詳細

http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf

新規のご登録はこちらから

<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただいております。

メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ、などは下記URLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、下記へお問い合わせください。
info@opack.jp
